



平成27年11月18日(水) 第297号



一般市民の方々20名が参加 道路施設の老朽化対策見学会開催

平成27年11月7日(土)に、一般市民の方を対象として、普段はなかなか見ることができない道路施設の老朽化や損傷の現状と、それに対する点検・補修・管理などの取り組みについて、広く知っていただくことを目的に、青森県道路メンテナンス会議主催による『道路施設の老朽化対策見学会』を開催しました。

見学会は国道7号の鶴ヶ花トンネル(大鰐町)及び、老朽化に伴い、架け替え事業中である市道古懸不動野線の不動橋(平川市)で行われ、約20名の一般市民の方々が参加しました。

鶴ヶ花トンネルでは、参加者にハンマーによる打音点検を行っていただき、音の違いによる損傷の程度などを体験してもらいました。

また、不動橋では架替えとなるトラス橋(橋齢48才)を例に、東北地方の特徴として橋梁が冬期の薬剤散布など塩分による劣化が進行していることを知って頂きました。



鶴ヶ花トンネルの点検の様子



ハンマーを使用した打音点検行っています



事業中の不動橋(写真奥が架替えするトラス橋)

青森県道路メンテナンス会議は、道路インフラの予防保全、老朽化対策に対する体制強化のため、県内の高速道路、国県市町村道の各道路管理者によって平成26年5月に設立されたものです。

今後も、各道路管理者の連携・情報共有及び技術力の向上を図り、効果的かつ効率的な道路インフラの維持管理を進めていきます。